



第156期
中間株主レポート

2021年3月1日から8月31日まで

 Takashimaya



取締役社長 村田 善郎

百貨店の再生と、
グループ総合力の発揮で
グループ全体の持続的成長を図る
コスト構造改革や、
グループ事業の収益基盤回復で、
通期は連結で黒字化を計画

株主の皆様には、日頃よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第156期中間株主レポートをお届けいたします。

上期につきましては、ほぼすべての期間で全国的な緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、当社グループ商業施設におきましても想定外の臨時休業を強いられるなど、十分な営業を行うことができませんでした。このため当初計画した百貨店の黒字化には至らず、グループ事業は健闘したものの、連結営業利益は20億円の赤字となり、通期計画を修正することとなりました。

下期においては、百貨店事業の再生を最優先課題として、早期黒字化に向けたコスト構造改革を断行し、営業力強化を推進してまいります。また堅調なグループ事業の収益回復により、通期の連結営業利益を黒字化させてまいります。先行きはまだまだ不透明で厳しい経営環境下にあります。コスト構造改革は順調に推移しており、安定した経営基盤の構築を進めてまいります。創出した原資は商業開発や海外、金融など成長領域に投下し、グループ総合戦略「まちづくり」を推進してまいります。

連結主要業績

(単位：億円 (％)は対前年同期比)

	2021年2月期 第2四半期実績	2021年2月期実績	2022年2月期 第2四半期実績	2022年2月期計画
営業収益	2,974 (△34.4%)	6,809 (△25.9%)	3,472 (16.8%)	7,640 (12.2%)
営業利益	△102 (－)	△135 (－)	△20 (－)	60 (－)
経常利益	△109 (－)	△136 (－)	△6 (－)	60 (－)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△233 (－)	△340 (－)	△44 (－)	23 (－)

ワンストップショッピングを実現し、館の魅力を最大化 お客様の利便性や楽しさを追求

当社がめざすのは、お客様の利便性や楽しさを追求したワンストップショッピングを実現し、館の魅力を最大化させていくことであります。そのために、お客様ニーズに対応した品揃えの実現やネットビジネス強化、デジタル活用に取り組むとともに、新規コンテンツの開発も進めてまいります。本年10月には蔦屋書店などで幅広く社会から支持されている、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)との合弁会社を設立いたしました。この事業を通じて、百貨店市場における現代アートの拡大と美術品の拡販により文化発信機能としての役割を果たしてまいります。また新しいライフスタイルの提案により人々の生活を豊かにする店舗事業での協働を行ってまいります。

当社の強みは、厳しい経営環境下でも 安定的に利益を創出できるグループの総合力

過去から現在に至るまで、厳しい経営環境下にあっても、全体で安定的に利益を確保していけるグループの総合力は、当社の強みであります。

商業開発業につきましては国内では流山おおたか

の森地区での周辺開発のほか、オフィスや住宅といった分野を拡充していくことで、グループの利益基盤を強化してまいります。また金融業では、ファイナンシャルカウンターの拡充に加えて、新たな金融サービスとしてソーシャルレンディング事業をスタートさせるなど、収益基盤の拡大を図ってまいります。

さらに飲食業のオール・ティール・コーポレーションでは、小籠包が人気の「鼎泰豊(デインタيفون)」が事業の柱であります。この7月には、イタリアンデリカテッセン&レストラン「リナストアズ」の日本第1号店を立ちあげましたが、この新規事業を第2の柱として育成し成長を実現してまいります。

1株当たり中間配当金は12円を実施

当社では、安定的な配当水準を維持することを基本スタンスとしながら、業績や経営環境、財務安定性などを総合的に勘案し、これまでも株主の皆様への利益還元を図ってまいりました。この方針のもと、当期の1株当たり中間配当金につきましては、12円とさせていただきます。

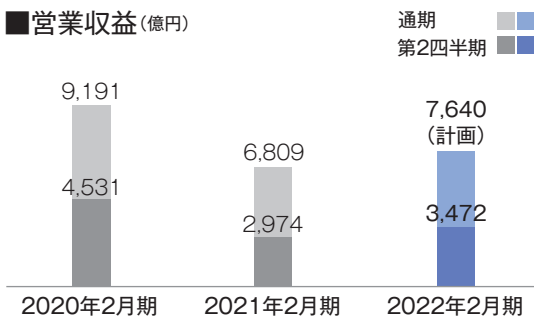
今後も引き続き、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいりますので、株主の皆様のご支援・ご愛顧のほど、よろしく願い申し上げます。

第2四半期連結業績

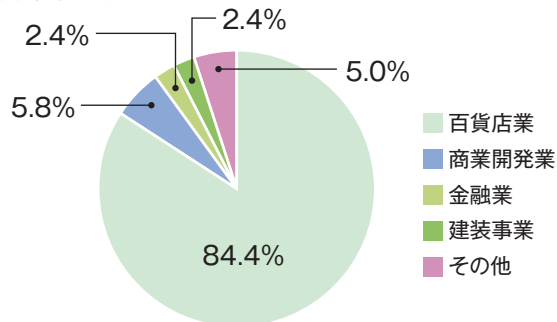
■セグメント情報(億円)

	営業収益		営業利益	
	2021年2月期第2四半期実績	2022年2月期第2四半期実績	2021年2月期第2四半期実績	2022年2月期第2四半期実績
百貨店業	2,420	2,931	△139	△70
商業開発業	175	203	32	35
金融業	81	82	21	22
建装事業	126	83	△1	△1
その他	172	174	4	4
調整額	—	—	△19	△10
連結財務諸表計上額	2,974	3,472	△102	△20

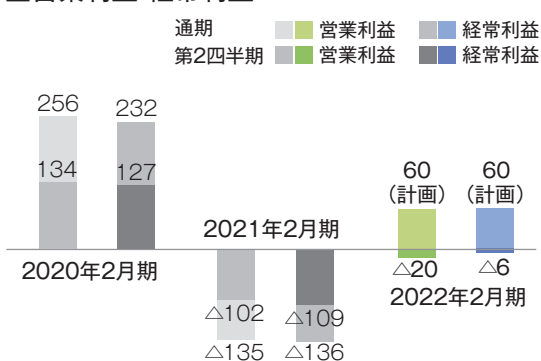
■営業収益(億円)



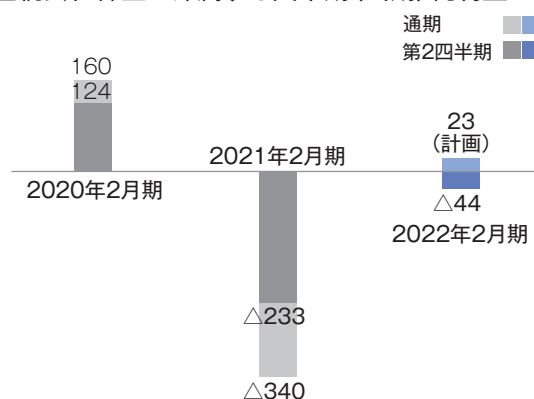
■営業収益構成比



■営業利益・経常利益(億円)



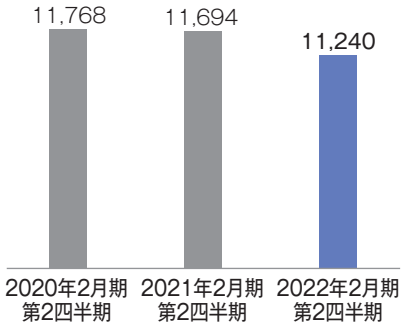
■親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(億円)



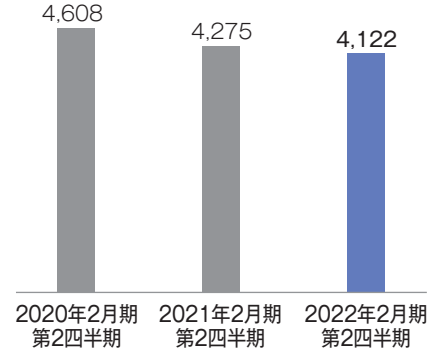
主要な財務情報

第2四半期連結業績

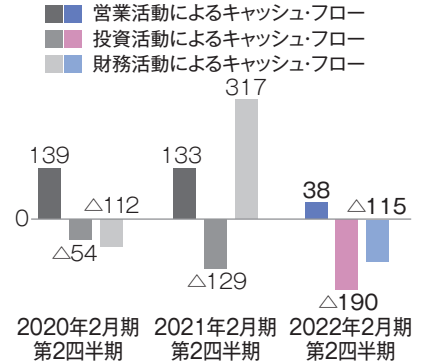
■総資産 (億円)



■純資産 (億円)

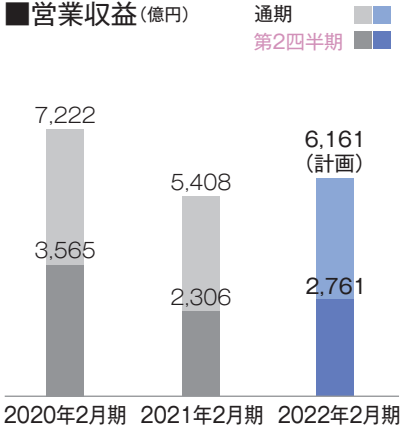


■キャッシュ・フロー計算書 (億円)

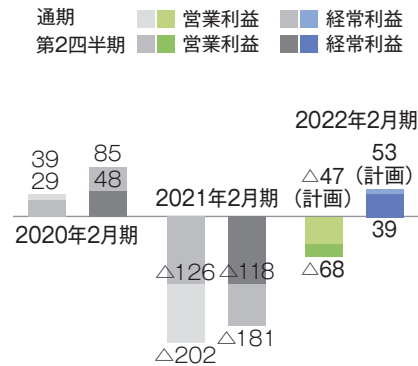


第2四半期単体業績

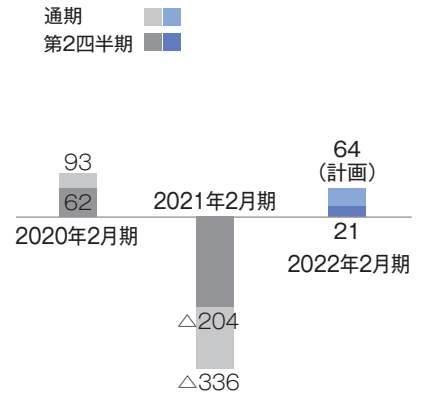
■営業収益 (億円)



■営業利益・経常利益 (億円)



■四半期(当期)純利益 (億円)



2022年2月期連結収支計画

(%表示は対前年同期比)

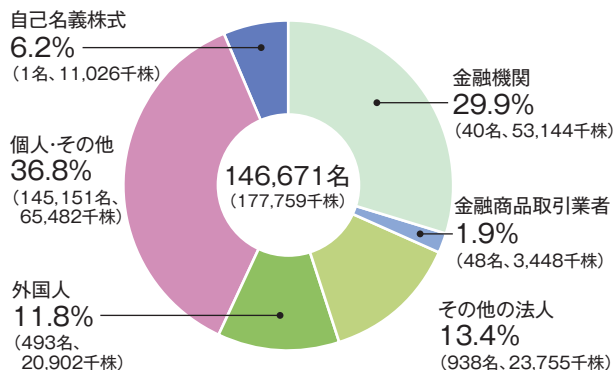
	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通 期	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円	銭
	7,640	12.2	60	—	60	—	23	—	13.79	

▶より詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。 [高島屋 IR情報](#) [検索](#)

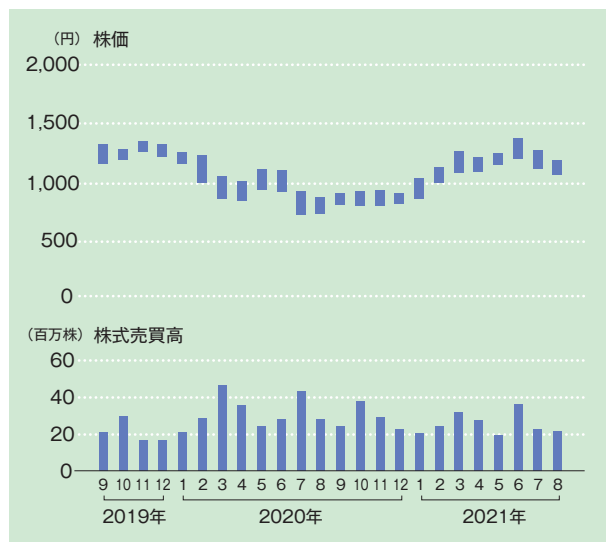
■株式数および株主数(2021年8月31日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式数	177,759,481株
株主数	146,671名

■所有者別株式分布状況(2021年8月31日現在)



■株価(高値・安値)および株式売買高の推移



■大株主(2021年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,991 ^{千株}	12.0%
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	8,887	5.3
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	8,792	5.3
日本生命保険相互会社	4,961	3.0
高島屋共栄会	3,447	2.1
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口9)	2,458	1.5
相鉄ホールディングス株式会社	2,402	1.4
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口5)	2,311	1.4
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口6)	2,043	1.2
高島屋社員持株会	1,840	1.1

(注)持株比率は、自己株式(11,026千株)を控除して計算しております。

■役員(2021年8月31日現在)

代表取締役 取締役会長	鈴木弘治
代表取締役 取締役社長	村田善郎
代表取締役 専務取締役	亀岡恒方
代表取締役 常務取締役	岡部恒明
代表取締役 常務取締役	清瀬雅幸
常務取締役	高山俊三子
常務取締役	井上淑子
取締役	倉本真祐
社外取締役	後藤晃
社外取締役	鳥越けい子
社外取締役	横尾敬介
社外取締役	有馬充美
常勤監査役	鋤納健治
常勤監査役	片岡不二恵
社外監査役	武藤英二
社外監査役	西村寛

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年間
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日です。
定時株主総会開催時期	5月
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (ホームページアドレス https://www.takashimaya.co.jp/)
単元株式数	100株
証券コード	8233
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご了承ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

ホームページアドレス <https://www.takashimaya.co.jp/>



本冊子は環境保全のため、再生紙を使用し、「植物油インキ」で印刷しています。